

質問	モンテルカスト錠 10mg の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	<p>モンテルカスト錠 10mg を簡易懸濁する際は遮光下（暗室）で調製し 30 分以内にご使用下さい。</p> <p>曝光下（約 500lx）において 55℃の温湯に懸濁させた場合、10 分後に類縁物質が規格外となっています。</p> <p>上記注意が必要ですがモンテルカスト錠 10mg はコーティングを破壊した後であれば約 55℃の温湯に 10 分以内に崩壊・懸濁し、8 Fr.のチューブを通過しています。</p> <p>また、調製懸濁液の pH は 9.1、懸濁液の 10 分後の残存率は 98.8%でした。</p> <p>この資料は本剤の懸濁状態及びチューブ通過性を検討した資料であり、臨床で経管投与した場合の有効性・安全性の評価は行っておりません。</p> <p>本剤をご使用の際には添付文書をご確認の上、医療従事者の裁量と判断のもとに行っていただきますようお願い致します。</p>
参考資料	【モンテルカスト錠 10mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料（2017 年 2 月改訂版）